



ミステリーサークルって何、どうしてできるの

とつぜんできる不思議な丸い形

ミステリーサークルは、イギリスで発見されて、たいへん話題になったものです。

これは、畑に植えてある作物が、丸い形にたおれてできたものなのです。たとえば、ムギが植えてある畑に、そのムギがみんな同じ方向に、円をかくようにばたばたとたおれている状態をいうのです。このような丸い形のものを、英語では「サークル」といいます。この畑の丸い模様が、不思議なことに、あるとき突然できるのです。このサークルは、自然にできたものなのか、だれが作ったものか、それさえまったくわからないのです。これは、たしかに不思議ですね。だからミステリーなのです。

プラズマという電気が原因らしい

その後、いろいろなミステリーサークルが発見されました。「これはUFOが着陸したあとではないか」と言い出す人もあらわれて、大さわぎになったのです。

最近の研究で、これはプラズマという、一種の電気が原因なのではないか、と考えられています。自然の中で、電気が勝手におきるというのは、なんとなく不思議なことのように思えます。しかし、ゴロゴロと鳴り、ぴかりと光るかみなりも電気です。自然の中で電気がおきるということは、少しも変なことではないのです。

ただし、このミステリーサークルについては、わかっていないことが多いので、相変わらず、ミステリーというわけです。今後の研究が進めば、くわしいことがわかってくるでしょう。（監修・青木 国男）

